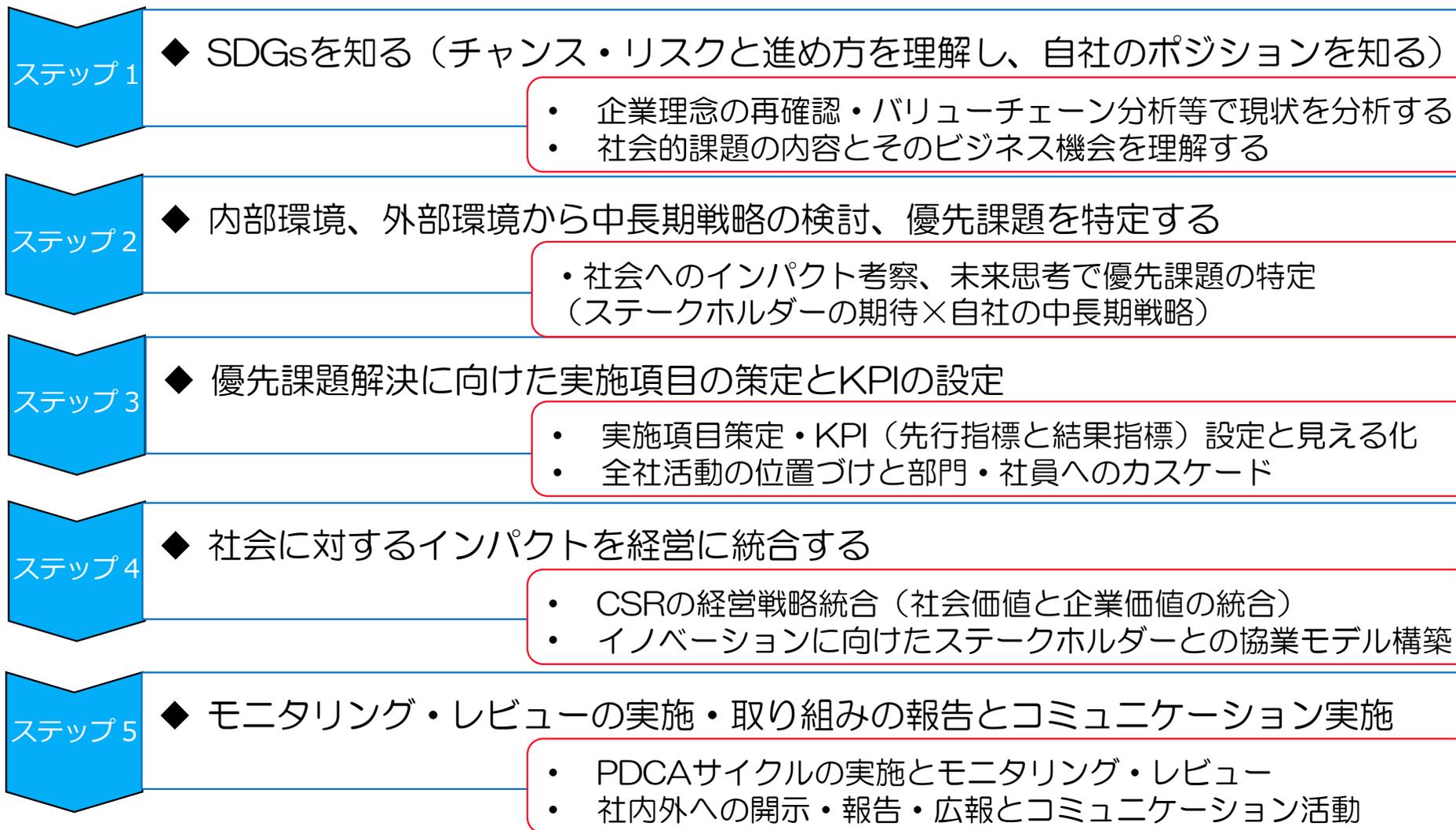


SDGsの取り組み支援（コンサルテーション）



SDG
サポーターズ

組織にどの様にSDGsを根付かせるか？

対話から広げるSDGs Actionの環

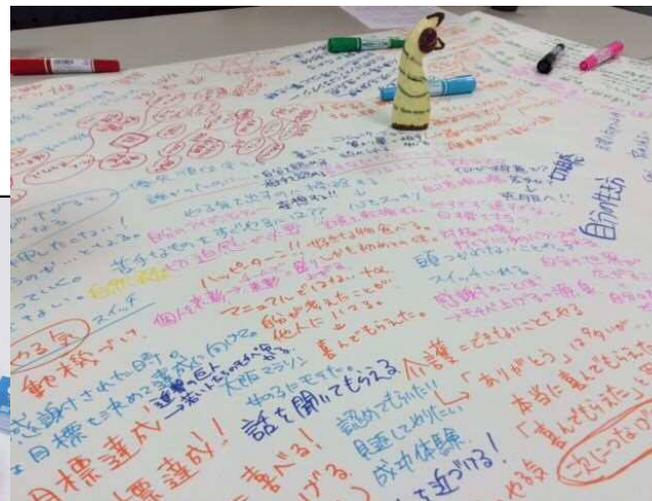


ステップ0

◆ SDGsを体感し、経営TOPのコミットメントを得る

- セミナー・対話会・ゲーム等でSDGsの基礎とメリットを認識
- TOPのコミットメントを得て、プロジェクト化する

経営TOP自らが、SDGsの基本理念・17ゴール・169ターゲットと実践の意義を各種イベント等で体感・理解し、2030年に向けた野心的な社会課題解決に向けた企業活動をコミットする。組織として機能させるためにプロジェクトマネジャーを選任する



組織にどの様にSDGsを根付かせるか？

ステップ1

◆ SDGsのチャンス・リスクと進め方を理解し、自社のポジションを知る

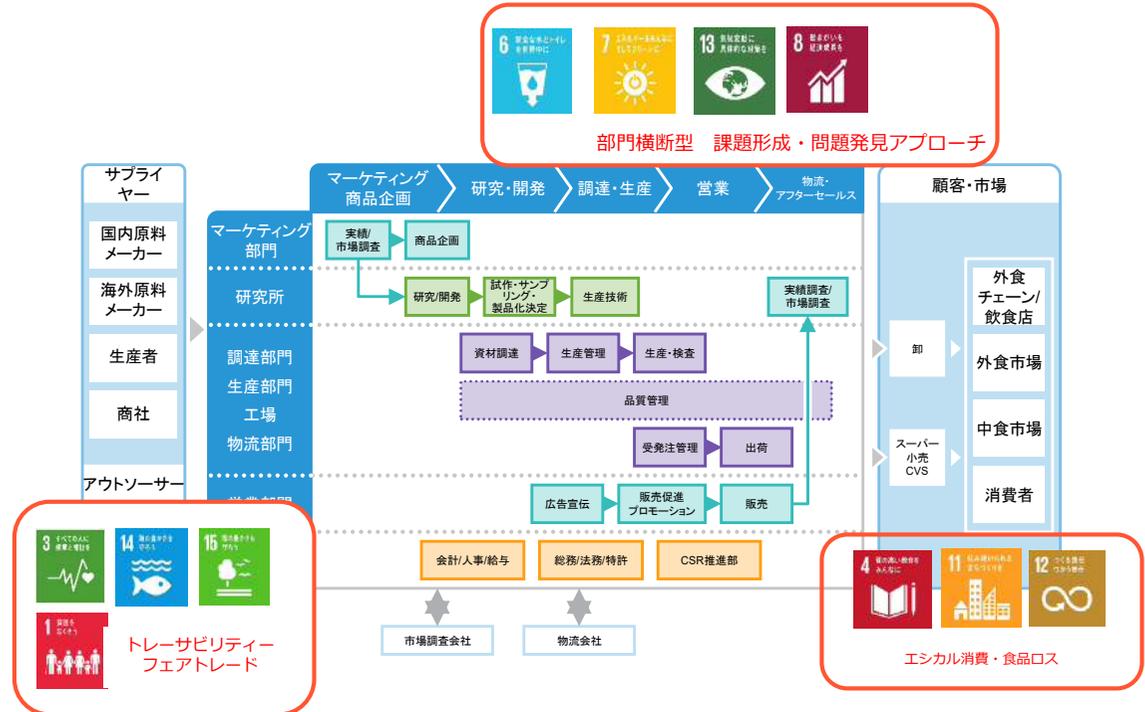
- 企業理念の再確認・バリューチェーン分析等で現状を分析する
- 社会的課題の内容とそのビジネス機会を理解する

※バリューチェーンによる現状把握

企業理念・社是は企業にとっての拠り所である。SDGsの理念と共通しているので、存在意義（パーパス）を再認識して着手・実行すると全社一丸となって取り組める

《ポイント》

- ※社会の課題は中小企業にとってもビジネスチャンスである。
- ※社会の課題解決は、企業の社会的価値の向上につながりうる
- ※社会の課題解決は、ステークホルダーとの関係の強化につながりうる



経営層や担当者だけでなく、社員にいかに意義や意味を周知させるかもポイント

組織にどの様にSDGsを根付かせるか？

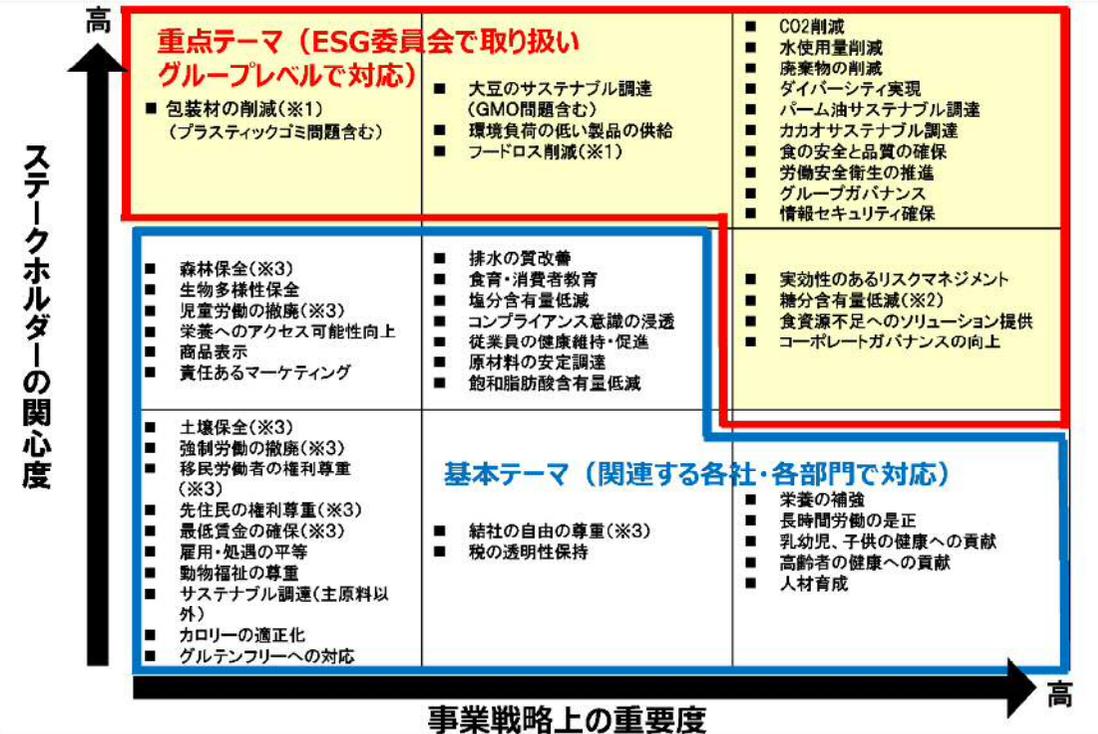
ステップ2

◆ 内部環境、外部環境から中長期戦略の検討、優先課題を特定する

・ 社会へのインパクト考察、未来思考で優先課題（マテリアリティ）の特定（ステークホルダーの期待×自社の中長期戦略）

※取り組むべき課題の特定には下記の様な手法があります

- インパクトアプローチ（マテリアリティ分析）
どの課題に取り組むことが、最もインパクトがあるか、仮説を構築し優先課題を決定する
- バリューチェーンアプローチ
バリューチェーンにおいて、社会に正と負の影響を最も及ぼしていると考えられる領域を特定し優先課題を決定する
- CSVアプローチ
自社で保有する技術やテクノロジー、サービスと親和性の高い領域はどこかを考察し優先課題を決定する
- オープンアプローチ
前提条件などにとらわれず、取り組むべき（取り組みたい）課題を、社内で公募やディスカッションを実施し、優先課題を特定する



マテリアリティの例（食品メーカーさま）

組織にどの様にSDGsを根付かせるか？

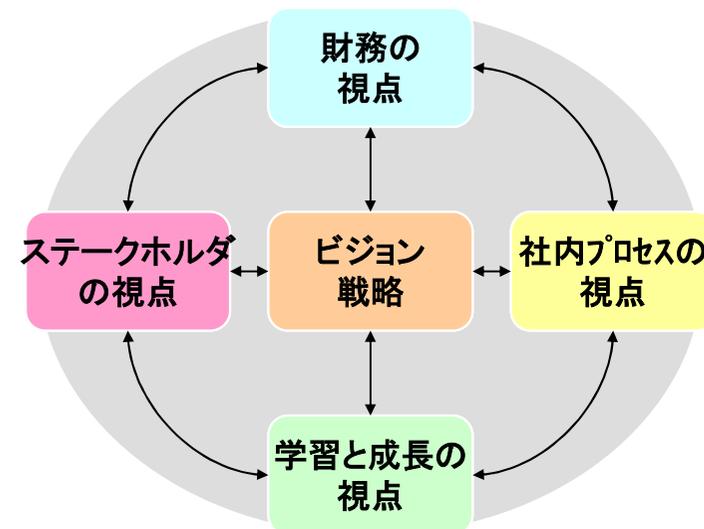
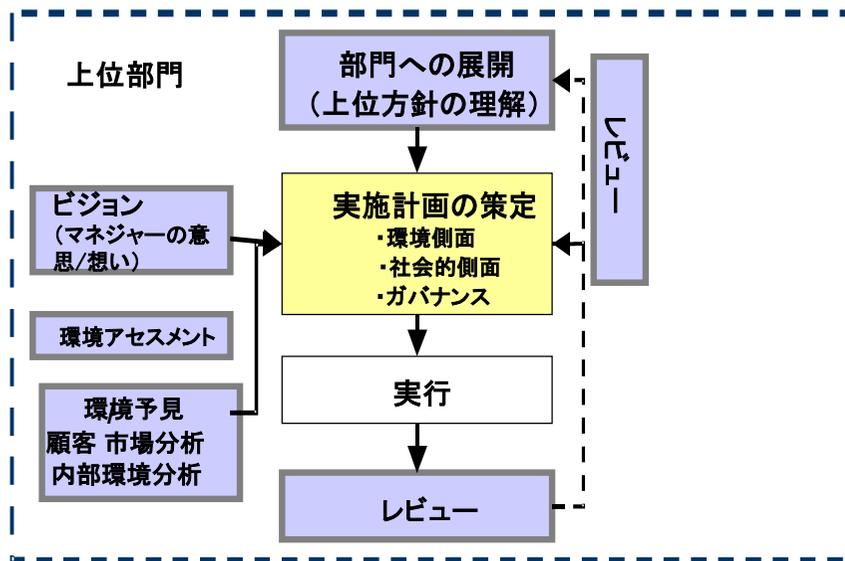
ステップ3

◆ 優先課題解決に向けた実施項目の策定とKPIの設定

- 実施項目策定・KPI（先行指標と結果指標）設定と見える化
- 全社活動の位置づけと部門・社員へのカスケード

方針展開：上位方針に基づき、データーを分析、実施計画を策定

バランス・スコア・カードの4つの視点からKPIを検討



※KPI設定の留意点

何を、どの様に、どれくらい影響を及ぼすのか（定量的）
 どの様な目的・目標なのか？品質の担保をどうするか（定性的）
 全体のバランスや連関性はとれているか

視点 Perspective	戦略目的 Strategic Objectives	成果指標 (KPI) Lagging Indicator	本年度	2年後	3年後
			目標値 実績	目標値 実績	目標値 実績

バランススコアカード：財務・ステークホルダー・業務プロセス・人材育成の4つの視点から中長期的な戦略に対するKPIを設定し、持続可能な企業を目指す

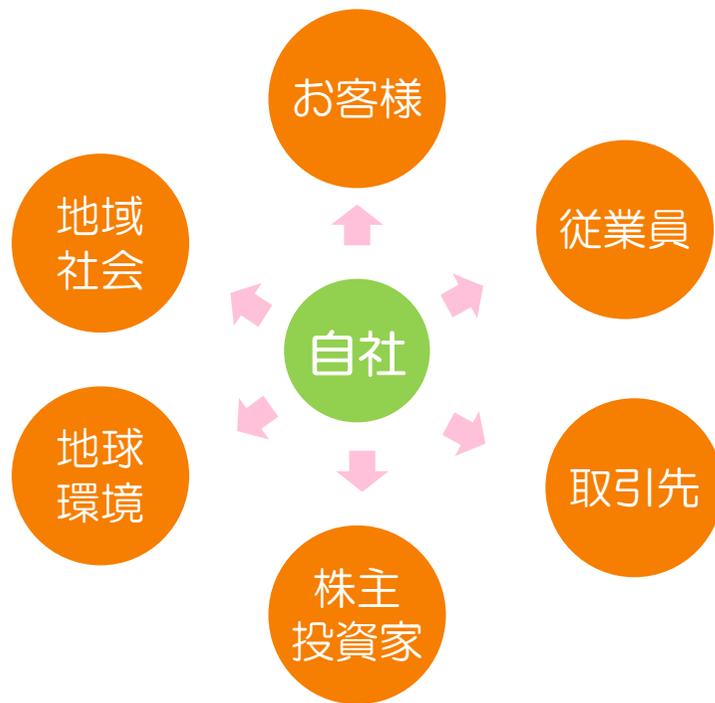
組織にどの様にSDGsを根付かせるか？

ステップ4

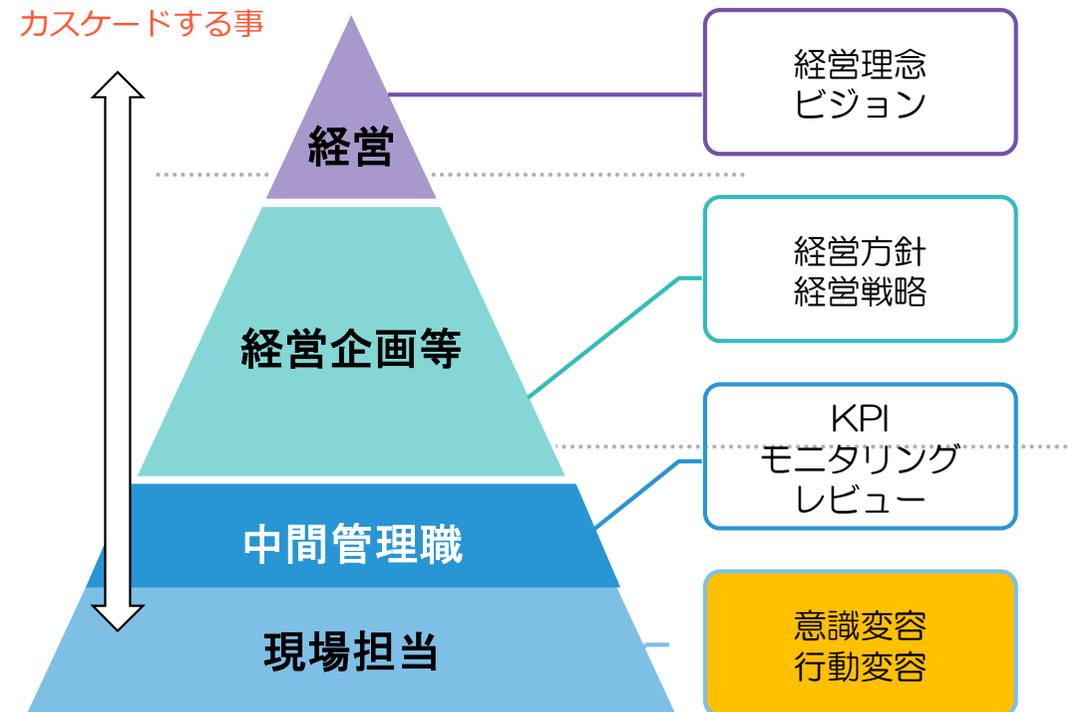
◆ ソーシャルインパクトを経営に統合する

- CSRの経営戦略統合（社会価値と企業価値の統合）
- イノベーションに向けたステークホルダーとの協業モデル構築

※SDGsを経営に統合するためには、経営者のリーダーシップと合意形成が必須



カスケードする事



※将来的な経済・社会・環境の変化を考慮しながらステークホルダーの期待を戦略に統合する

対話会・勉強会などでマインドを醸成する

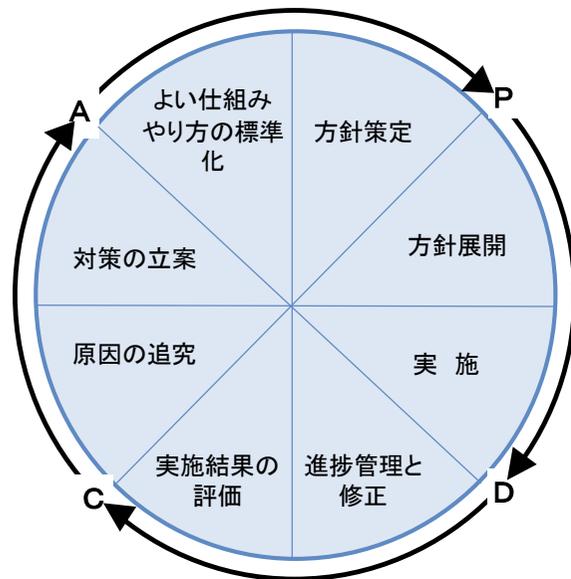
組織にどの様にSDGsを根付かせるか？

ステップ5

◆ モニタリング・レビューの実施・取り組みの報告とコミュニケーション実施

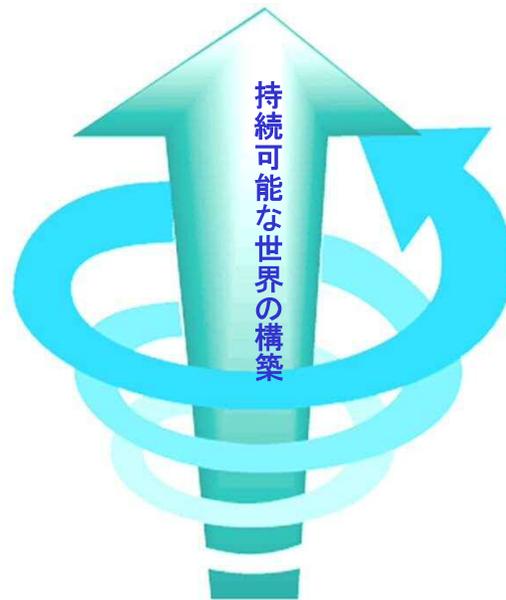
- PDCAサイクルの実施とモニタリング・レビュー
- 社内外への開示・報告・広報とコミュニケーション活動

業務の改善

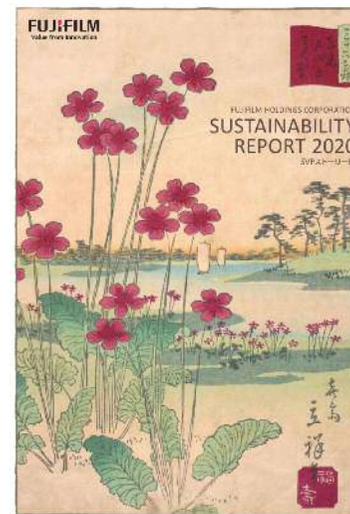


< PDCAサイクル >

業務の進歩



< 継続的改善：SRストーリー >



参照：富士フイルム（株）SUSTAINABILITY REPORT2020